

平成27年度 宮津市9月補正予算（案）【追加提案分】の概要

会 計	補正前予算額	補正予算額	計	対 前 年 同 期 比	
				伸 率	H26(9月補正後)
	千円	千円	千円	%	千円
一 般 会 計	10,960,915	45,000	11,005,915	△0.4	11,047,240
特 別 会 計	8,266,455		8,266,455	6.3	7,776,498
水 道 事 業 会 計	667,935		667,935	△5.9	709,858
合 計	19,895,305	45,000	19,940,305	2.1	19,533,596

< 9月補正予算【追加提案分】の概要 >

- 一般会計 国交付金を活用した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生の先行実施事業、宮津与謝消防組合宮津分署と合築で整備する市防災拠点施設の実施設計費を追加するもの。

平成27年度一般会計歳入歳出補正予算【9月補正(追加提案分)・第4号】

歳 入		(単位：千円)		
区 分 款	補正前の 予 算 額	補 正 予算額	補正後の 予 算 額	備 考
1 市 税	2,521,272		2,521,272	
2 地 方 譲 与 税	72,300		72,300	
3 利 子 割 交 付 金	4,900		4,900	
4 配 当 割 交 付 金	10,200		10,200	
5 株式等譲渡所得割交付金	5,000		5,000	
6 地 方 消 費 税 交 付 金	363,700		363,700	
7 ゴルフ場利用税交付金	9,000		9,000	
8 自 動 車 取 得 税 交 付 金	15,000		15,000	
9 地 方 特 例 交 付 金	3,845		3,845	
10 地 方 交 付 税	3,690,000		3,690,000	
11 交通安全対策特別交付金	2,372		2,372	
12 分 担 金 及 び 負 担 金	99,933		99,933	
13 使 用 料 及 び 手 数 料	325,475		325,475	
14 国 庫 支 出 金	1,133,595	36,000	1,169,595	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金
15 府 支 出 金	924,578		924,578	
16 財 産 収 入	50,433		50,433	
17 寄 附 金	20,200		20,200	
18 繰 入 金	380,037		380,037	
19 繰 越 金	51,865		51,865	
20 諸 収 入	318,862		318,862	
21 市 債	958,348	9,000	967,348	建設地方債
歳 入 合 計	10,960,915	45,000	11,005,915	

歳 出		(単位：千円)		
区 分 款	補正前の 予 算 額	補 正 予算額	補正後の 予 算 額	備 考
1 議 会 費	165,474		165,474	
2 総 務 費	1,496,686		1,496,686	
3 民 生 費	3,298,469	10,000	3,308,469	子育て親子の交流促進事業
4 衛 生 費	1,215,773		1,215,773	
5 労 働 費	19,409		19,409	
6 農林水産業費	387,814		387,814	
7 商 工 費	192,293	26,000	218,293	観光まちづくり推進事業 11,500 農商工観連携推進事業 14,500
8 土 木 費	1,089,482		1,089,482	
9 消 防 費	511,167	9,000	520,167	防災施設整備事業
10 教 育 費	856,759		856,759	
11 公 債 費	1,713,839		1,713,839	
12 予 備 費	13,750		13,750	
歳 出 合 計	10,960,915	45,000	11,005,915	

平成27年度宮津市9月補正予算(案)【追加提案分】 主要事業の概要

◆9月議会冒頭に提案した補正予算では、6月補正予算編成後に国・府の内示等があったものの追加や国府支出金の精算、人件費等の整理などを行ったところ。

◆今回、一般会計において、10月策定の「宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく地方創生に向けた先行実施事業（国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用する事業）、宮津与謝消防組合の宮津分署の改築と併せて整備する市防災拠点施設に係る実施設計費を追加するもの。

※9月補正予算【冒頭提案分】と【追加提案分】を合わせた一般会計の補正総額は1億8,000万円（1億3,500万円 + 4,500万円）になる。

(単位:千円)

	事業名	予算額	財源内訳		事業の概要	平成27年度 既決予算額	部局名	説明資料	
			特定財源	一般財源					
■観光を基軸とした産業振興									
充実	観光まちづくり推進事業	11,500	国	11,500	0	◆観光まちづくりに向けた調査の実施 ・観光流動分析調査の実施【新規】など ※国交付金の活用	当初500	観光まちづくり推進室	1
充実	農商工観連携推進事業	14,500	国	14,500	0	◆オリーブによる新産業の創出 ・栽培グループへの支援(搾油機の購入や 加工場改修の支援等)【新規】など ※国交付金の活用	当初23,101	産業振興室	2
■教育の充実と人材育成									
■健康増進と福祉の推進									
充実	子育て支援の充実 (子育て親子の交流促進事業【新規】)	10,000	国	10,000	0	◆子育て親子の交流促進と相談体制の充実等 ・未就園児と親への相談・支援体制の拡充、 木製玩具の市内全施設への配備、子育て ママのリフレッシュ事業の実施等 ※国交付金の活用	当初9,849	健康福祉室 教育委員会	3
■暮らしの基盤の整備									
充実	防災施設整備事業	9,000	市債	9,000	0	◆市防災拠点施設に係る実施設計費【新規】 ※消防組合宮津分署と合築で整備する中、 一括して設計・建築を行う組合へ市施設 分に係る実施設計を委託するもの。	当初36,000	総務室	4

(単位:千円)

事業名	観光まちづくり推進事業			充実	補 正 予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	11, 500	11, 500				0	
					特 定 財 源 の 内 訳					
補正理由	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組を先行的に実施するもの。 （地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の活用）			(参考)補正後予算額	国	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金			11, 500	
目 的 ・ 目 標	『観光革命の推進』 京都縦貫自動車道の全線開通等に伴い、京阪神からの観光客に加え、東海・北陸エリアからの新たな人の流れが生まれている中、観光マーケティング調査を実施し、観光入込客の増大、観光消費額の拡大（外貨獲得）及び地域振興につなげていくもの。			背 景 ・ 経 緯	・ H26. 4：誘客を推進する天橋立ツアーセンターを天橋立観光協会内に設置 ・ H26. 7：舞鶴若狭自動車道の全線開通海の京都観光圏の認定 ・ H27. 7：京都縦貫自動車道の全線開通海の京都博の開催（11月まで）					
事業概要	■観光流動分析等調査 11, 500千円 ビッグデータの収集・分析等による観光マーケティング調査を実施し、今後の市の観光施策に資するとともに、天橋立ツアーセンターが行う着地型旅行商品の企画販売を充実させていくもの。 ○調査内容 ・ Wi-Fiパケットセンサーを用いた観光流動調査（市内20か所程度にセンサーを設置） 観光客の域内動向及び交通流動の把握 主要施設の滞在時間や施設間の移動時間の把握 季節・時間等による変動把握 など ・ 観光満足度調査、観光ニーズ調査等の実施 【Wi-Fiパケットセンサー】 スマートフォン等から発信されるリクエスト信号を受信することで、常時の移動・滞在・回遊の解析を可能とするシステム			期 待 さ れ る 効 果	・ 観光入込客の増 ・ 観光消費額の拡大 ・ 地域振興					
				【みやびビジョン2011以外の計画】						
				H25	年度策定	観光革命アクションプログラム		計 画 期 間	H25～H29	
				H27	年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略			H27～H31	
				年度策定					～	
				【市民参加の状況】						
				【先進性】						
				担当室・係	観光まちづくり推進室		観光推進係	TEL	45-1625	

(単位:千円)

事業名	農商工観連携推進事業			充実	補 正 予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略		14, 500	14, 500				0
補正理由	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組を先行的に実施するもの。 (地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の活用)				(参考)補正後予算額	国	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金			14, 500
					37, 601					
目 的 ・ 目 標	『「海・里・山」の地域資源を活用した里山経済圏の形成』 地域主導でオリーブ栽培を進めるグループの活動を支援し、新産業の創出と地域雇用の創出につなげる。				背 景 ・ 経 緯	H25:・市内3地区でオリーブの栽培実証を開始(300本) ・府交付金等を活用し、地域住民によるオリーブ栽培開始(H26以降も植樹を進め、現在累計348本に) ・新たに地域おこし協力隊を委嘱し、オリーブ栽培に従事 ※ これまでの栽培状況、専門家からの評価等を踏まえ、木子等の積雪寒冷地においては経過観察が必要であるものの、栽培、産業化の見通しが得られた。				
事業概要	□ 里(オリーブ)の資源を活用した新産業の創出・6次産業化の推進 14, 500千円 ■地域主導でオリーブ栽培を進めるグループへの支援 11, 900千円 ※由良オリーブを育てる会(代表:藤本徳雄氏・会員数:16人) H25の設立から現在までに237本のオリーブを栽培し、H26にはオリーブの結実が確認された。また、H27より、京丹後市のオリーブ約250本の管理も引受け、加工・販売へとステップアップが可能となった。 (1) 搾油機(2台)及び加工備品の貸与 7, 500千円 市で設備を購入し、グループへ貸与。 (2) 加工場の改修支援 3, 200千円 石浦にある自治会所有の共同作業場一部改修を支援。 総事業費:4, 800千円(補助率2/3) (3) オリーブ苗木の選定と購入支援 1, 200千円 土壌調査と土壌に適した苗木購入を支援。 購入本数:500本 総事業費:1, 800千円(補助率2/3) ■オリーブ栽培技術等の向上支援 2, 600千円 (1) 現地研修 2, 000千円 イタリアの生産者訪問、栽培現場での研修等 参加者:5人(市職員1人、地域おこし協力隊1人、オリーブ栽培関係者3人) ※オリーブ栽培関係者は費用の2/3補助 (2) 搾油技術研修等 600千円 小豆島の生産者等による搾油・栽培技術研修等				期 待 さ れ る 効 果	・新たな特産品開発 ・観光客をターゲットにした外貨獲得				
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					H27 年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	計 画 期 間	H27～H31		
					年度策定			～		
					年度策定			～		
					【市民参加の状況】					
					由良オリーブを育てる会は、由良地区の農業者を中心に組織され、取組まれている。					
					【先進性】					
					担当室・係	産業振興室 産業推進係				TEL

(単位:千円)

事業名	子育て支援の充実 (子育て親子の交流促進事業【新規】)		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成 健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	10,000	10,000				
補正理由	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取組を先行的に実施するもの。 (地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の活用)			(参考)補正後予算額	国	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金			10,000
				19,849					
目 的 ・ 目 標	『子育て支援と学校教育環境の充実』 宮津市子ども・子育て支援事業計画に掲げる「親の子育て力を高め、子供を産み育てることに楽しさを感じられる」環境づくりを進める。			背 景 ・ 経 緯	未就園児家庭の子育て力の低下や孤立化など、子育てへの不安や負担感が増大している。				
事業概要	■子育て親子の交流促進と相談・支援体制の充実 9,581千円 ○未就園児と親への相談・支援体制の拡充 ・保育所で実施している「おやこのひろば」等の充実 (北部地域(養老保育所)の相談体制等の強化) ・幼稚園で実施している「幼稚園ひろば」の充実 (実施回数の増(宮津・暁星幼稚園)、新規開設(栗田幼稚園)) など ○子どもの知を育むこと等につながる木製玩具の配備 (市内全施設) ○乳幼児の食に関する相談・指導の充実 ○子育て支援事業の情報発信強化								

(単位:千円)

事業名	防災施設整備事業			充実	補 正 予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—		9,000			9,000		0
						特 定 財 源 の 内 訳				
補正理由	市防災拠点施設の実施設計を宮津与謝消防組合に委託するため。				(参考)補正後予算額	市債	防災施設整備事業債		9,000	
					45,000					
目 的 目 標	宮津与謝消防組合宮津分署の建て替えに合わせて、市防災拠点施設を新たに確保し、消防組合との連携の強化、市防災体制の向上を図るもの。				背 景 経 緯	・ 現宮津分署建築年次:昭和42年度 ・ 署内一部（昭和63年度建築）に宮津市施設を配置 ・ 宮津分署耐震化診断結果（平成22年度調査） ⇒最小IS値0.44（基準値0.90以上） こうした中、現敷地を拡張した上で宮津分署を建て替えることが適当と判断され、市の防災拠点施設も合築する整備方針を決定。				
事業概要	■消防組合への市防災拠点施設実施設計に係る委託 9,000千円 宮津与謝消防組合が一括して発注する宮津分署・宮津市防災拠点施設改築工事に係る実施設計費を面積按分により費用負担するもの。 【整備概要】 1. 建設用地 約900㎡ ※現敷地(457㎡)を拡張して建築するもの。 2. 整備概要 鉄筋コンクリート造2階建一部（車庫部分）平屋建					期 待 さ れ る 効 果	・ 地震対応における宮津市災害対策本部の強靱化 ・ 地震発生時の消防機能の強靱化 ・ 災害時の市・消防署組織体制の連携強化			
	【みやづビジョン2011以外の計画】									
					年度策定	計 画 期 間	～			
					年度策定		～			
					年度策定		～			
	【市民参加の状況】									
	【先進性】									
	担当室・係		総務室 消防防災係				TEL	45-1605		